

# 留萌ダム 緑丘小学校5年生 森づくりの取組



郷土に自生する樹木を植え、森づくりに取り組む活動として、留萌みなとライオンズクラブの協力を得て市立緑丘小学校5年生の児童が、播種から成長した苗をポットに移す作業を体験しました。

昨秋、チバベリふれあいの森で自ら実生を採取した活動を振り返りながら実生の成長を観察し記憶を新たにしました。キハダ、ハルニシ、ホオノキ、エソヤマサクラなどの苗を苗床からポットに移し替え、6年生になる来春にダム周辺で植樹をする予定です。

あいにくの雨模様でしたが、屋内に準備した用土をショベルなどを使い均一に混ぜ合わせた後、めいめいポットに炭・用土を敷き詰め苗を植え込み用土でしっかり固定し、樹種名と各自の名前を記入した札を差し込み育苗箱に保管しました。作業の後、作成したポット苗を記録帳に残しました。

この活動は、生態学的混播・混植法と云う技法で、環境の維持を視野に置いた生態系の再生を目標にしたものです。短時間の作業でしたが二百数十個のポットを仕上げ、最後に児童代表から今日の活動の大切さについて発表を受けました。

**“環境保全の重要性を体感”**



2008. 7. 23